

PTA会報

No.50 2009.3



嵩山

松江東高

目次

○ P T A 副会長挨拶	1
○ 教頭挨拶	2
○ テーマ「卒業生に贈る言葉」三年学年会	4
○ 部活動報告	10
○ P T A 会務報告	17
○ 補習科案内・編集後記	20





『明日に向かって』

P T A 副会長 岡田俊明

東高校の P T A 役員を仰せ付かって二年が経過しました。

あつという間のことであり三島前会長、桜井現会長の補佐もままならなかったと大きく反省をしておりますが、限られた時間を精一杯活かしながら自分の役割を自覚し、全うすることに全力を挙げた所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

さてこの一年、P T A 活動について振り返ってみますと、八月に会長代行で愛知にての全国大会に参加しました。総員一万人という参加者の多さに驚かされたと共に、子供達だけで作られたファッションショーの新鮮さ、企画力に感動いたしました。またパネラーを交えたディスカッションではそれぞれの意見に「そうだーそうだ！」と賛同した有意義な全国大会でありました。次年度は沖縄開催予定でありますので期待は膨らみそうです。十一月には浜田での P T A 研修会に参加し、子供たちとの接し方、親としてのあり方を勉強させられました。それと同時に教育者の視点に立つと如何に平等に且つ公平に評価をすることの難しさを痛感しました。立場を変えた企業での我々も社員を一定の基準、数字の成績で評価しますが、多少

なりともこれから社会に飛び立つ希望ある若者に對しては、慎重にならざるを得ないと思います。

「ゆとり教育の見直し」、「教育委員会のあり方」、「教師と P (親) のかわり方」、「生徒の自主性発揮」、「親としての責任の自覚」、「先生としての責任の自覚」いろいろと上げれば限りの無いことになってしまいますが、どれが欠けても大変なことになると思われます。そしてこれは誰がすべきことなのでしょう？報道関係はいつもこれら問題にすべきことを論じるのではなく、これらを取り巻く一事務を取り上げ面白おかしく記事に載せているだけです。「学校がやるべきだ」・「P T A 役員がやるべきだ」ではありません。他人は何もしてくれません。自らが一緒になって取り組むことなのです。学校と P T A が連携して一緒に考え、一緒に行動を起こすことが必要です。校長先生を筆頭にした先生達、P T A 役員を頭とした全ての親達が一つになって初めて車輪が動き出します。情報の交換は積極的に行ってお互いに認識し、一つの方向に向いて行けると思います。

幸い東高校は各部活でも積極的に活躍され、P T A 応援団も多くの方が参加されています。いじめやしごきは無いものと思えますが多くの方の目

が届けば間違いはないと思います。団体・個人競技に関係なく、あつてはならないものですので、より良い東高校生活を送られるように先生も P (親) も宜しく願います。

太陽は朝、東の空から雄大に昇り、夕方ゆっくり西の穴道湖に沈んで行きます。そして次の日もまた同じようにこの繰り返しをします。まるで何事も無かったように……。これだけ世情が悪かろうと関係無いかのように毎日毎日……。

人間だもの、いいこともあれば悪い事だってあります。成功することもあれば大きな失敗をすることもあります。褒められることもあれば叱られる事だってあります。でも生きている限り必ず明日を迎えられます。明日が嫌いな試験でもやがて終わり、次の日には希望の日がやってきます。いいことは待っていても何も変わりません。

こうだと思ったことは行動で示しましょう。まず自分で、友達と、仲間達と！

「大きな夢・希望を持ち、まずこれに向かって身近な目標をたて取り組んでみましょう！楽しい日が一杯待っています！」





二〇〇九年 卒業生に贈る

教頭 三上 照憲

卒業する皆さんとは昨年四月からの付き合いです。授業は週三時間SSクラスに通いました。久しぶりの授業でしたので、初めはとまどいもしましたし、数学の勘がなかなか戻ってきませんでした。一番困ったのは、視力が衰えたことです。四年勤務とした前の職場ではパソコンと向き合う時間が長かったためでしょう。教室の後ろの黒板に書かれた文字は見えないし、教科書も眼鏡をはずさないで読むことができない状態になっていました。字を瞬時に判読できないということで皆さんには迷惑をかけました。

このSSクラスは二年生からクラス替え無しで進級しますが、理系クラスにみられるような非常に個性的な集団でした。そのところは若い担任がうまくクラスをひっぱってくれたお陰で、三年の後半になるに従ってクラスの団結力が出てきたし、学力も伸びてきました。忘れもしない、ある授業で「二定点からの距離の和が一定である点の軌跡（＝楕円）」を説明するとき、ビジュアルに訴える

ためにヒモが欲しくて、「誰かヒモみたいなものをもっていませんか？」と尋ねてみたところ、いつもは大人しい生徒が「先生のネクタイを使ったら」一瞬、時が止まりました。こんなふうに毎回の授業がとても楽しみでした。

次に三年生とかかわりをもったのは、外庭の掃除のときです。一学期は男子が溝掃除、女子は草抜きがメイン。確か夏場だったと思います。玄関広場にある溝の鉄製の蓋をはずして泥を汲み上げていたとき、何かの拍子で黒く臭い泥が生徒の白いカッターに跳ね返り、往生したことがありました。すぐに水道で泥を落としましたが、私の水のかけ方が大胆すぎたのか、カッターが全面的にびちょびちょになってしまいました。でも、その生徒は嫌な顔もせず笑顔で終礼に向かっていきました。

また、中庭の木の枝がうっとうしいので、二期に入ってから男子が枝打ち、女子がドウダン

ツツジ等の剪定に専念しました。この作業は思いのほか人気が出て、道具（ノコと剪定鋏）の奪い合いとなりました。職員室から教室棟への見晴らしが良くなったお陰で、生徒の様子が手に取るようにわかるようになりました。が、逆に「目隠しがなくなった！」と生徒はいささか不満でした。

それはともかく、枝打ちや剪定は彼らにとって初めての経験だったようで、とても生き生きとして作業に打ち込んでくれたことを思い出します。ある生徒が言っていました。「こんなに真剣に掃除をしたのは初めてだ！」と。その担当が終わる日に握手を求められたことも懐かしい思い出です。

やがて落ち葉のシーズンも終わり、三年生の最後のグループには、グラウンド入口付近の枝打ちと剪定を指示しました。高いところは脚立を使って枝打ちをすることもありました。ところが、年が明けると例年になく大雪となり雪掻きに専念。三年生にとって本校での最後の清掃日も雪が残っていました。切り落とした枝がそのままになっていたなと思いつながら廊下を歩いていたら、ある生徒が「先生、あの木は片付けなくて良いのですか？」と聞いてきました。次の担当となる下級生たちと一緒に片付けようと思いましたが、こんな一言にも東高生の律儀な面を垣間見ることができ、温かい気持ちになりました。

最後は三瓶合宿について。本校では、平成十八年度以降、諸事情により宿泊研修がなくなったため、皆さんは三年生になるまで全く宿泊研修を経験することなく学校生活を送ってきました。私は、四月に本校に赴任して以来、何かの形で思い出に残る研修ができたらと思っていました。三年生の秋に合宿というのは如何なものか、という意見も承りましたが、三年部や関係の方々の熱意が実り二泊三日で実施することができました。合宿のテーマは、「自分と戦い、自分を知り、友を知ろう」クラスや学年の連帯意識を深めること、受験生としての意識を高めて能動的な学習の習慣化を図ることが目標でした。

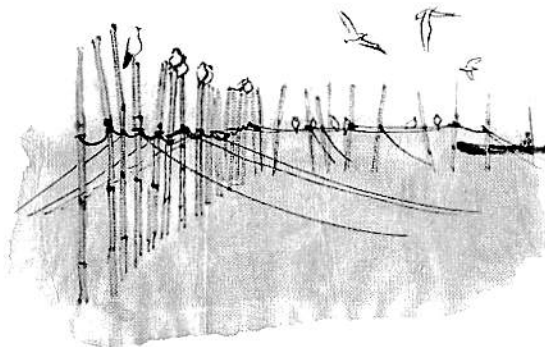
私も仲間に入れてもらい、生徒達と一緒にセンター試験対策の講義を受け（なんと、先生方にはこの講義のためだけに学校から日帰りでも来てもらいました。講義を受けた生徒は大変感謝しておりました）、朝の集いや登山にも参加しました。最終日の朝の集いでは、ある女子生徒が他団体を含めた参加者全員の前で話をしてくれましたが、大変しっかりした内容で、感激したことを覚えています。この研修をとおして、皆さんが一回りも二回りも大きくなったことを確信しました。

さて、三瓶研修の夜のファイアーストームは、雨のため体育館での「キャンドルの集い」となりました。私はこのとき初めて「火の長」という役を務め、「終わりのことば」を述べました。今、皆さんの卒業にあたり、改めてその言葉に万感の思いを込めて贈りたいと思います。

「夜も更け、いつの間にかこの楽しかった一時が過ぎようとしています。

このキャンドルの火がやがて皆さんの心に灯され、友情の火として明るく輝き、いつまでも心の中に大切に育てられることを祈ります。

希望に満ちたこれからの人生には、苦しいこと、悔しいこと、悲しいことも待ち受けているかもしれません。そのときには、この炎、この夜を思い浮かべ、友情の火を支えとして力強く生き抜いてください！ファイヤー！！」



テーマ「卒業生に贈る言葉」

三年学年会

繋がって

三年学年主任 竹並礼子

昨年の夏と年末、本校二十一期生の卒業生の皆さんと会合を持つ機会がありました。一年生の時と、三年生の時に担任したクラスの同窓会でした。聞けば両クラス共に、集まるメンバーはその都度変わりながらも、機会を作っては飲み語らっているらしく、その場にはいない人たちも元気でいることがわかりました。そして、何人もの人が、「東高で過ごせて良かった。」「大変だったけれど、その分、人との繋がりが強くなったから。」と送ったあなた方が素晴らしいのだと、嬉しく話を聞きながら、もし、三十年後にも、彼らが集まって元気な姿を見せながら、「東高でよかったです」と言ってくれば、心震えるに違いないと思いました。今は、何が起こっても不思議ではない世の中になりました。他者との関わりが不得手な人も、孤独に耐えきれない人も多いようです。二十四期生の皆さんをとりまく社会も環境も例外ではないし、そのありようもまた様々に変化することでしょう。

しかし、皆さんは決して一人ではありません。今までもあなた方の周囲には、姿や形の有無に関わらず、いつも誰かがいたはずで、ちよつと想像力を働かせてみればわかることです。

私もこの三年間、何人かの幼なじみや大学時代の同級生に、保護者と教員という立場で再会し、二十一期生の弟妹とも出会い、自分が多くの人と繋がっている縁をいつも感じていました。そして悲しい別れの中にも、親との血肉のつながりを実感し、私という人間が決して私だけの物でも者でもない今更ながら確信しました。そして皆さんとの出会いもまた、私の新たな繋がりとなりました。それらすべての繋がりに温かく支えられ、励まされ、心を強くすることの多い日々でした。どうもありがとうございます。

己の内なる繋がりを感じ、信じて、根の深い温かい人になってください。

東高での生活や、同級生との繋がりが今後の皆さんを支える豊かな力となるように、そして寿命が尽きるその日まで、皆さんが豊かに人生を全うしてくれることを、これからは離れた所で静かに祈り続けようと思います。

卒業、おめでとう。

「卒業生の皆さんへ」

31 R 正担任 原 木 善 二

「志は何をか事とする。志を尚くす。何をか志を尚くすと謂う。仁義のみ。」

人間として一人前であろうと思うならば、何を心掛けるべきであろうか？ そうだとも、志を高く持つことである。では、志を高く持つとはどういうことか？ そうだとも、思いやりの流れに沿い、正義の大道を歩むことにあるのだ。

この言葉は「孟子」のなかの言葉です。人間、生きていけば気持ちが弱くなることはいくらでもあります。皆さんも今後、必ずそんな時と出会うでしょう。そんな時こそ、東高のときの思い、生活を思い出してください。この高校三年間で培った思いが「志」だと思います。そして人への思いやりを持った真正直な大人になってください。

私にとって、この学年は初めて担任をした学年であり、そして初めて三年間持ち上がった学年です。それだけこの学年に対する私の思い入れは強く、皆さんとともに歩んだこの三年間は、皆さんから色々なことを学ばせてもらった大切な三年間でした。皆さんの卒業を本当に嬉しく思います。

卒業生の皆さん、本当に卒業おめでとう。

「1、2、3ノ年間」

31 R 副担任 後藤 太

ご卒業おめでとうございます。
諸君とは、一年から三年まで副担任で続けて三年間のお付き合いでした。三年前の入学式で初めて会ったときから、今日まで早いものであつという間に過ぎ去って行きましたね。

体格ばかりでなく、内面も大きく成長されたことと思います。三年前の自らを省みてどういう気持ちになりますか。古来、多くの人が人生について色々な場面において多様で有用な言葉を残しています。それらには実に心の支えとなり、明日への希望を見出す糧となるでしょう。古きをたずねるのもいいでしょう。

しかし、みなさんには敢えて「新しいものこそ生存（存在）する」ということを考えてもらいたいと思います。歴史において似たような状況の過去に学ぶことは沢山ありますが、過去と現在は常に違う局面であるということを考えておいてもらいたいです。今日は昨日と違う新しい日ということですよ。

例えば、昨日の「AならばB」という事実は今日はすでに成り立たない可能性があるので。生物はすべて新しい機構を手に入れたものが古い生態にしがみついた者を駆逐して存在しています。古い形をプレイクスルーしなければ、新時代には生き残れないのです。歴史となった過去は過去の醜悪な人間のご都合に染まっています。みなさんにはまっさらな未来に大きな絵を描いてもらえらと思ひます。

「卒業生に贈る言葉」

32 R 正担任 富塚 裕美

ご卒業おめでとうございます。いろいろな進学先や就職先に旅立って行かれる皆さんに、どんな言葉を贈れば良いのかと迷っていたら、ふと、一冊の本のことを思い出しました。数年前に他の高校で、初めて三年生の担任をしていたときのクラスに、たくさんの苦勞が降りかかって大変だった生徒さんがいて、彼女が薦めてくれた本です。

「Happyの法則」という、薄く小さな青緑色の本で、中には幸福の条件等について著者の思うことが、シンプルで書かれています。

「あなたには、人生で幸福を体験する責任があります。いろいろありでしょうが、あなたの人生の責任は、あなたが引き受けてほしい」

それは、ときには難しいかもしれませんが、でも、もしも時間を遡れるなら、彼女と同じクラスにいて、進学後にこの世からいなくなってしまう生徒さんにも聞いてほしかった言葉です。私は皆さんの将来が、夢と希望に満ちあふれた幸せなものになってほしいと願っているけれど、そんな風にはいかなるときもあるでしょう。でも何が起こっても、遠く離れていても、何度でもやり直せると思うので、どこかで元気で暮らしててくださいね。

「歩き続けよう！」

32 R 副担任 永瀬 嘉之

成功者とは何か？

それは、成功するまでそれを続けた人のことである。

失敗者とは何か？

それは、成功する前にそれをあきらめてしまった人のことである。

昨年もこの言葉を卒業生に贈りました。今年は、変えようとも思いましたが、やはり今年もこの言葉を贈ることにしました。

私たちは、成功者には特別の才能や幸運があると思いがちです。確かにそういう成功者もいるでしょう。でも、もし、彼らに特別の才能があるとしたら、それは、途中であきらめないで続けることができるとは限りません。

これから、君たちは、それぞれが目標とする道を歩き出そうとしています。その道は決して舗装された高速道路とは限りません。でこぼこの、曲がりくねった道で、時として行き止まりかも知れません。しかし、歩き続けてください。あなたより遅くスタートした人が、あなたの隣をすいすいと駆け抜けていくかも知れません。しかし、気にすることはありません。

とにかく歩き続けよう！
絶対に、あきらめないで！

「窓」

33 R担任 村穂 淳

生徒のみなさん、そして保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。この東高での生活は決して平坦な道ばかりではなかったと思います。それでも級友と共に前へ歩み、卒業されたことは大きな意義があります。

先日、地元で高校のときの同窓会に出席しました。出身高校を卒業して二十二年の歳月が流れ、本当に久しぶりの再会でした。「ハハハ、全然変わってないねえ」と盛り上がる一方、会話を通じて級友の皆がよき社会人、よき親にもなっているなあと感じました。二十二年後でも楽しく語り合える、それは高校で苦学を共にしたこと、そして卒業後もそれぞれの進路に向かってやりがいを見つけて今でも各々が一生懸命に生きているからなのでしょう。

東高で最後までやり抜いたことを自信にしてください。そして学んだこと、身につけたことを社会で役立て、自分のやりがいが見つけられるように、切に祈っています。

私は33 Rの掃除終了直後の霽開気が大好きでした。夕日によって、教室の窓枠が長い田の字の影となつて後ろの黒板に映しだされ、終礼が始まるまで友人と語り合ったり、ペランダで戯れたり。

窓の向こうの景色をともに眺めた仲間たち、まさに同窓生ですね。いつまでも心の支えとして、今後切磋琢磨していきましょう。

卒業生の皆さんへ

33 R副担任 安食 英典

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。突然ですが、私が部活動で担当しているバスケットボールは五人対五人の攻防ゲームです。攻撃の動きは無限にあるので逆に指導するのに苦労します。そんななか、私が大切だと思うのは「選手が意志を持って動く」ことです。意志がなくなただけとなく動いている選手は成長しません。よいプレイをしてもそれは偶発的で継続しません。そして、意志を持って動いた結果、味方と動きが重なった時、臨機応変に動きを切り替えていける選手がよい選手です。

こんな事を書いたのは、これからの皆さんの生活にも同じような事が言えるのではないかと思っただからです。これまでの敷かれたレールを歩いていた生活と違い、今後の生活は自分で考え、判断し、意志を持って行動することが大切になってきます。そして時には頑なでなく、臨機応変さも社会のなかでは必要だと思えます。

皆さんの可能性は無限大です。周りに流されず、自分の意志を持ち、頑なでなく、臨機応変に……
そしてお元気で。

この詩を贈ります

34 R担任 玉木 愛

卒業おめでとう。私は、みんなに、この詩を贈ります。

いつでも、何に対しても、正面からまっすぐに向かっていってください。

サッカーによせて 谷川 俊太郎

けつとばされてきたものは／けり返せばいいのだ／ける一瞬に／君が確かめるもの／ける一瞬に／きみが誰かにゆだねるもの／それはすでに言葉ではない／泥にまみれる／汗にまみれる／そこにしか／憎しみが愛へと変わる奇跡はない／一瞬が歴史へとつながる奇跡はない／からだからだとぶつかりあい／大地が空とまざりあう／そこでしか／ほんとの心は育たない／希望はいつも／泥まみれなものだ／希望はいつも／汗まみれなものだ／そのはずむ力を失わぬために／けつとばされてきたものは／力いっぱいけり返せ

まっすぐに生きていこう。そうしたら、大切なことが見えてくる。私は、そう思っています。

三年間、ありがとう。

卒業生に贈る言葉

34 R 副担任 有藤 克己

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これからみんなはそれぞれ自分の選んだ道を歩んで行くことになりますが、まわりに流されることなく、堂々と自分の道を行ってほしいと思います。たしかに自分を他人と比べ、その人の良いところばかり見えて自分を卑下しがちになるものですが、皆さんには他人にはないなにかがきっとあります。それを見つけて武器にし、アグレッシブに力強く生きて下さい。時にはつまずいて途方に暮れることもあるでしょうが、失敗しても何が問題かしっかりと分析できれば、それは成功へのきっかけとなるはずですよ。つらいときこそ悲観的にならず、自分を信じてポジティブにいきましょう。その時その時を大切に、昨日より今日、今日より明日より少しでもよりよく生きてください。

それでは、卒業生の皆さん、いつまでも元気で頑張ってください。

「卒業生に送る言葉」

35 R 担任 奥野 昌明

二十四期生のみなさん卒業おめでとうございます。入学当初から担任、教科担当という立場でみなさんとともに過ごし、この三年間でたくさんの良い思い出を作ることができました。

今年度、ある講座の中で「映像実現」という言葉に出会いました。「自分はこうなりたい。」という姿を毎日心の中で描くと、それが達成されるというものです。他の人から「あなたはくになりなさい。」と言われることでも効果があるようです。人間の脳には未知なる部分が多く、頭の中で理想を描き続けると、勝手に脳細胞がそれを実現すべく働き始めるということも聞いたことがあります。今みなさんはどんな夢を抱いていますか？新しく始まる生活にばかり気を取られるのではなく、将来の自分をしっかりと見据えて行動し、ぜひ「映像実現」してほしいと思います。

He can who believes he can.

(できると信じるものができる)

自分の可能性を信じて、これからの人生を歩んでください。

人間万事塞翁が馬

35 R 副担任 勝部 俊行

昔々、国境の塞（しほ）に老いた父親とその息子が住んでいました。親子は一頭の馬を大切に飼っていましたが、ある朝その大切な馬がどこかに逃げて行ってしまいました。息子は大変悲しみましたがこの父親、「この災難がいずれきつと幸福につながるであろうよ。」と泰然自若、涼しい顔で言ったのです。しばらくすると父親の予言通り、逃げた馬がたくさんの駿馬を従えて戻ってきたのです。村人達のお祝いの言葉を遮るように今度は「この幸福がきつと災難の種になるだろうよ。」と言うではありませんか。その予言通り、帰ってきた馬を乗り回していた息子が落馬して足の骨を折ってしまったのです。見舞いにやってきた村人たちにまたもやその父親、「この災難がきつと幸福を呼ぶでしょうから。」と、平然としているのです。やがて、隣国との戦争が勃発し、多くの若者が戦場に借り出されましたが、かの息子は足の骨を折っているということで、徴兵されなかったのです。おかげで息子の命は奪われずにすみました。ここでもまた父親の予言的中したのです。

これは、紀元前に書かれた中国の「淮南子（えなんじ）」という書物に出てくる物語です。幸福はいずれ不幸を呼び、不幸はいずれ幸福を呼ぶ。

とかく人生というものはそうしたものだからこそ、今置かれた環境に甘えたり競々としたりすることなく、常に気を引き締め、努力と精進を怠らないことが大切」という人生訓を説いたものです。

幸せに満たされている君、やがて来る苦難の道への対処は万全ですか？

悲しみに暮れているあなた、やがて来る喜びに向け何か新しい夢を持っていますか？

人間万事塞翁が馬！

「卒業生に贈る言葉」

36 R担任 河村 匡 敏

三年生の生徒諸君、卒業おめでとうございます。まだ中学生から抜け出せないまま、この松江東高校に入学してきた君達との出会いがつい最近であったかのように、この三年間があったという間に過ぎ

ていったように思えます。みんな心身共に成長したんだと感じるときがいよいよ来ました。毎年いつもこの時期になると、自分自身の卒業を思い出します。

私の父は、一年の半分以上病院生活でした。私が高校を入学したときも、卒業したときも、そして大学入学したときも、その報告を病室で行ったことをよく覚えています。大学進学後も病状は悪化するばかりで、帰省する度に父の衰弱した様子を見ていました。そして、父が亡くなった今になって、「大学へ行かずに、地元就職して、父の面倒を見れば良かった。」と後悔しています。口数が少なく、私の大学進学には全く反対しなかった父ですが、本当は地元に残ってほしかったのではないかと、最近よく思います。

人生は後悔の固まりです。でも大学に進学して教員になったからこそ、君達のような素晴らしい人たちに出会えたと思います。これからの君達の人生において、後悔することがあっても、どんなに辛いときがあっても、必ず素晴らしい人との出会いが待っているはずですよ。その出会いをいつまでも大切にしたいと思えます。

「卒業生の皆様へ」

36 R副担任 荒木 一徳

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

これから、巣立っていく社会は混迷の度を深めています。一〇〇年に一度といわれる経済危機の中で、格差社会が増幅され、誰もが「生きづらさ」を感じる社会が現実のものとなっています。そうした社会の中で、多くの若者が漠然とした不安を抱えて生きています。その不安・悩みはいつたどこから来るのでしょうか。それはおそらく、みずからの将来を決められない不安、何を指すのかわからない悩みではないかと思うのです。たとえ、進学先・就職先を決めている人でも、本当にこれでいいのかという不安が常につきまといまいます。将来の職業を考えても、自分は本当にその職業に向いているのかという悩みが頭から離れないのです。求めても求めても、納得のいく解答を手に入れることができないかもしれません。けれども、この不安・悩みから逃げていたのでは、人生を送る意味は全くありません。ただ何となく大学を選び、モラトリアムを満喫して、何の目的もなくフリーターになってしまう若者がどれほどいること

でしょうか。今は、たとえ苦しくても、大変でも、大いに悩み、努力してほしいと思うのです。そうすることが、自分の心の中に太くしっかりした幹をつくることになり、他者にいたずらに頼ることのない自立した大人になる第一歩を踏み出すことになるのではないかと思うのです。卒業生の皆様への健闘を祈ります。

「三年生に贈る言葉」

三年学年部 松浦辰彦

卒業おめでとう。教員になってから毎年この時期を迎えるわけであるが、嬉しいような淋しいような複雑な気持ちで卒業生を送り出している。「おめでとう」だから喜ばしい事なのだけれど、卒業式の日の旅立つ君達の立派な姿を見ると涙腺がゆるむ。

そこで、何か言葉を君たちに贈りたい。

「人生は八十年の山のほり」まだまだ先がある。一歩ずつ一歩ずつ歩いていくこと。人生に近道はなし。着実に進んでほしい。

それと「感謝の心」を持つ人間になってほしい。

成功した人の話を聞くと、「感謝」がキーワードになっている。それに感謝する気持ちがあれば人と喧嘩になる事もないし、自分自身が癒される。みんな頑張れ、応援している。

卒業生の皆さんへ

三年学年部 景山由美子

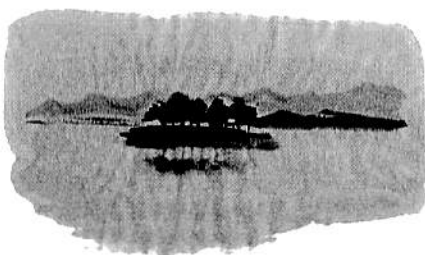
卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんと過ごせたのは二年間という短い間でしたが、たくさんの思い出をもらいました。全員と話をすることはできなかったかもしれませんが、松江東高校で過ごせたことを嬉しく思っています。春は出逢いの季節です。皆さんも三年前の春、東高で新しい同級生と出逢ったように、これからもたくさんの人との出逢いがあるでしょう。相田みつをさんの詩の中に、「出逢い」という詩があります。

「いっどこでだれとだれが
どんな出逢いをするか
それが大事なんだなあ」

私は生きていく中で、人との出逢いをとても大

切にしています。学生時代に出逢った同じ目標に向かって切磋琢磨した友人、社会に出て出逢った人生の目標とすべき先輩、そして新しい価値観を与えてくれる人……どのような出逢いにも、その意味があり、その出逢いが自分を作ってくれているような気がします。

いつか振り返った時、大事に思える出逢いが、たくさんあったと思えるような人生を送ってほしいと思っています。



部活動報告

●平成20年度●

運動部活動

☆バレーボール部

●中国県予選

男子 予選敗退 0-2 隠岐

女子 予選リーグ戦 0-2 吉賀

2ブロックリーグ戦

2-0 松江市女

順位決定リーグ戦

2-1 松江農林

●県総体

男子 一回戦 2-1 江津工業

女子 一回戦 0-2 情報科学

二回戦 2-0 松江市女

●県新人戦

男子 予選グループ戦 0-2 安来 第5位

三回戦 2-0 松江高専

2位リーグ戦 0-2 安来

ベスト8 1-2 情報

松江北・東 0-2 横田

女子 予選グループ戦

2-0 三刀屋

2ブロックリーグ戦

2-0 松江商

順位決定リーグ

0-2 安来

●県選手権

男子 予選グループ戦

2-1 松江北・東

女子 予選グループ戦

0-2 松江北・東

トーナメント戦

準決勝 2-0 松江農林

●中国予選

男子 3位

二次予選

二次予選

94-39 大東

ベスト5賞

大田健人

一次予選 104-42 松江農林

ベスト5賞 安木理子

中国大会

男子 一回戦

男子 3位

●県総体

二回戦

三回戦

準々決勝

準決勝

ベスト5賞

女子 3位

●県選手権

男子 3位

一回戦

二回戦

準々決勝

準決勝

ベスト5賞

女子 3位

●県新人大会

男子 1位

一回戦

二回戦

準々決勝

準決勝

決勝

ベスト5賞

女子 3位

二回戦

準々決勝

87-50 出雲

86-82 松江北

82-82 松江商業

79-67 松江南

78-57 明誠

75-76 出雲

75-52 松江北

86-52 三刀屋

85-55 松江南

80-55 浜田商業

92-42 浜田

86-52 三刀屋

85-55 松江南

75-52 出雲北陵

80-55 都田俊弥

67-56 出雲商業

46-58 松江商業

76-88 出雲北陵

125-35 松江北

108-50 大社

81-42 出雲商業

61-63 出雲

81-42 出雲商業

65-75 松江工業

79-59 出雲

95-46 大社

96-43 大田

54-73 岡山学芸館(岡山)

67-46 松江西

58-59 出雲北陵

☆卓球部

●中国県予選

男子団体 一回戦 0対3 松江高専
男子ダブルス 4組参加 三回戦までで敗退
男子シングルス 8名参加 三回戦までで敗退
女子団体 二回戦 3対0 市立女子
三回戦 1対3 平田
順位決定 一回戦 3対0 松江農林
二回戦 3対2 松江商業

【中国高等学校卓球選手権出場】

女子ダブルス 2組参加 三回戦までで敗退
女子シングルス 4名参加 三回戦までで敗退

●県高校総体

男子団体 一回戦 0対3 平田
男子ダブルス 4組参加 三回戦までで敗退
男子シングルス 8名参加 三回戦までで敗退
女子団体 二回戦 3対1 津和野
準々決勝 2対3 松江北
女子ダブルス 4組参加 高野涼子・坂本京組
ベスト32
女子シングルス 8名参加 坂本京
ベスト64

●中国大会

女子団体 一回戦 3対2 萩商業(山口)
二回戦 0対3 就実(岡山)

●国体県予選

男子ダブルス 4組参加 二回戦までで敗退
男子シングルス 8名参加 四回戦までで敗退
女子ダブルス 2組参加 二回戦までで敗退
女子シングルス 5名参加 二回戦までで敗退

●県一年生大会

男子団体 三回戦 0対3 出雲北陵A
男子シングルス 4名参加 二回戦までで敗退
女子団体 一回戦 0対3 明誠B
女子シングルス 4名参加 三回戦までで敗退

●県高校選手権

男子シングルス 9名参加 三回戦までで敗退
男子ダブルス 4組参加 二回戦までで敗退
女子シングルス 4名参加 三回戦までで敗退

●県新人大会

男子団体 二回戦 0対3 明誠
男子ダブルス 4組参加 四回戦までで敗退
男子シングルス 9名参加 三回戦までで敗退
女子団体 一回戦 3対0 津和野
二回戦 0対3 明誠
順位決定 一回戦 3対1 松江商業
二回戦 2対3 平田 第五位
女子ダブルス 2組参加 二回戦までで敗退
女子シングルス 5名参加 宮本早希 ベスト32
金木瑛実加 ベスト64
神門カンナ

☆テニス部

●県個人選手権松江地区予選
男子 シングルス3人、ダブルス1組 地区予選突破
女子 地区予選突破者なし

●県個人選手権

男子 シングルス ベスト16 櫻井基晴
ベスト32 錦織伊吹 他一回戦敗退
ダブルス 第4位 櫻井・錦織組 他初戦敗退
女子 シングルス 三回戦敗退
ダブルス 二回戦敗退

●県総体

男子 団体戦 ベスト16
個人戦
シングルス ベスト8 櫻井基晴
(中国大会出場権獲得)
三回戦敗退 藤井拓人
二回戦敗退 錦織伊吹
一回戦敗退 石川大貴
ダブルス ベスト16 櫻井・錦織組
ベスト16 石川・藤井組
女子 団体戦 二回戦敗退
個人戦
シングルス 二回戦までで敗退
ダブルス 二回戦までで敗退

●県新人戦

男子 団体戦 3位
個人戦
シングルス ベスト16 石川 大貴
ダブルス ベスト8 錦織伊吹・石川大貴
女子 団体戦 ベスト8
個人戦
シングルス ベスト16 安食みのり
ダブルス 初戦敗退

●中国高等学校新人テニス大会

男子 シングルス 二回戦敗退 石川大貴
男子 ダブルス 一回戦敗退 錦織伊吹・石川大貴
女子 シングルス

●県高体連学年別テニス大会

男子 一年生の部 3名参加、2回戦で敗退
二年生の部 優勝 錦織伊吹
準優勝 石川大貴
女子 一年生の部 優勝 安食みのり

☆ソフトテニス部

●山陰選手権
男子個人 荒川 崇・荒木 駿組 二回戦敗退
山本壮太・井上貴大組 一回戦敗退
角田仁志・石川翔太組 一回戦敗退
女子個人 木幡祥子・野津なるみ組 三回戦敗退

●県総体東部地区予選

男子個人 荒川 崇・荒木 駿組
ベスト8
山本壮太・井上貴大組 予選通過
種野友彦・朝原健輔組 予選通過
長子雄士・長子将士組 予選通過
野津翔平・吉松京介組 一回戦敗退
角田仁志・石川翔太組 一回戦敗退
藤原 風・石川健太組 一回戦敗退
男子団体 二回戦 1-2 松江西

女子個人 木幡祥子・野津なるみ組 予選通過

河上めぐみ・森山絵梨組 予選通過

山本衣里・加藤沙耶組 予選通過

福山美里・金山友香組 予選通過

女子団体 二回戦 0-3 三刀屋高校

●県総体

男子個人 荒川 崇・荒木 駿組 三回戦敗退

山本壮太・井上貴大組 二回戦敗退

野津翔平・吉松京介組 二回戦敗退

角田仁志・石川翔太組 一回戦敗退

種野友彦・朝原健輔組 一回戦敗退

長子雄士・長子将士組 一回戦敗退

男子団体 一回戦 0-3 松江高専

福山美里・金山友香組 三回戦敗退

木幡祥子・野津なるみ組 二回戦敗退

山本衣里・加藤沙耶組 二回戦敗退

池田理絵・三成綾組 一回戦敗退

河上めぐみ・森山絵梨組 一回戦敗退

女子団体 一回戦 2-1 大東高校

二回戦 1-2 松江西高校

●県新進大会兼国体一次予選

男子個人 荒川 崇・荒木 駿組 五回戦敗退(ベスト16)

山本壮太・井上貴大組 三回戦敗退

種野友彦・長子将士組 三回戦敗退

野津翔平・吉松京介組 二回戦敗退

長子雄士・石川翔太組 三回戦敗退

石川健太・神田雄多組 二回戦敗退

朝原健輔・藤原 凪組 一回戦敗退

山本衣里・木村眞子組 二回戦敗退

福山美里・光田あかね組 二回戦敗退

●県高校新人戦地区予選

男子個人 種野友彦・荒木 駿組 予選通過

山本壮太・長子将士組 予選通過

長子雄士・井上貴大組 予選通過

野津翔平・吉松京介組 予選通過

神田雄多・石川翔太組 予選通過

朝原健輔・藤原 凪組 予選通過

荒川 崇・石川健太組 予選通過

男子団体 一回戦 1-2 出雲

女子個人 山本衣里・木村眞子組 予選通過

福山美里・光田あかね組 予選通過

女子団体 二回戦 0-3 出雲商業

●県高校新人戦

男子個人

種野友彦・荒木 駿組 六回戦敗退(ベスト8)

山本壮太・長子将士組 四回戦敗退(ベスト32)

長子雄士・井上貴大組 二回戦敗退

野津翔平・吉松京介組 二回戦敗退

神田雄多・石川翔太組 二回戦敗退

朝原健輔・藤原 凪組 二回戦敗退

男子団体 一回戦 2-1 出雲工業

二回戦 1-2 江津工業

女子個人 山本衣里・塩田奈央子組 一回戦敗退

福山美里・光田あかね組 一回戦敗退

女子団体 一回戦 0-3 出雲商業

●県高校インドア選手権大会(新人戦ベスト32以上出場)

男子個人 種野友彦・荒木 駿組 二回戦敗退(ベスト16)

山本壮太・長子将士組 一回戦敗退

☆サッカー部

●中国松江地区予選

一回戦 2-0 松江北

二回戦 1-2 開星

代表決定戦 1-2 松江工業

●県総体

一回戦 4-1 江津工業

二回戦 0-1 松江南

●選手権松江地区予選

代表決定戦 4-0 松江南

●県選手権

一回戦 2-4 出雲

●県新人戦

一回戦 0-1 浜田商業

☆バドミントン部

●中国県予選

女子学校対抗戦 一回戦 松江東0-3 松江商業

女子シングルス ベスト32 中山澄香

女子ダブルス ベスト16 中山澄香・永野美樹組

●県総体

女子学校対抗戦 一回戦 松江東1-3 松江北

女子シングルス ベスト32 山本真奈美

女子ダブルス ベスト16 中山澄香・永野美樹組

女子シングルス ベスト32 福田 楓

●県選手権

女子ダブルス ベスト16 中山澄香・永野美樹組

女子シングルス ベスト32 福田 楓

女子ダブルス ベスト8 足立理菜

女子シングルス ベスト16 佐藤奈々・野津利花組

女子ダブルス ベスト8 鷺見冴果・足立理菜組

女子シングルス ベスト16 鷺見冴果・福田楓組

女子ダブルス ベスト32 佐藤奈々・野津利花組

●県新人戦

女子学校対抗戦 一回戦 松江東3-1 出雲農林

女子シングルス 二回戦 松江東1-3 松江北

女子ダブルス ベスト16 鷺見冴果

女子シングルス ベスト32 足立理菜

女子ダブルス ベスト8 鷺見冴果・足立理菜組

女子シングルス ベスト16 鷺見冴果・足立理菜組

☆柔道部

●中国県予選

男子団体 松江東 0-5 平田

松江東 0-5 三刀屋

松江東 1-4 浜田商

男子個人 73kg級 中島聡志 予選リーグ敗退

66kg級 粟谷悠人 予選リーグ敗退

60kg級 豊島創太 第3位

●中国大会

男子個人 60kg級 豊島創太 予選リーグ敗退

●県総体

男子団体

一回戦

松江東 0-4 三刀屋 敗者復活戦

松江東 3-2 川本・島根中央

松江東 0-5 益田東

男子個人 73kg級 中島聡志 予選リーグ敗退

66kg級 朽木久志 予選リーグ敗退

60kg級 豊島創太 第3位

女子個人 52kg級 粟谷悠人 予選リーグ敗退

女子個人 60kg級 坂本裕美 予選リーグ敗退

男子個人 60kg級 朽木久志 決勝トーナメント進出

女子個人 52kg級 坂本裕美 予選リーグ敗退

●県選手権

男子個人 朽木久志 一回戦敗退

女子個人 坂本裕美 二回戦敗退

☆剣道部

●中国県予選

男子団体 一回戦 対 高専 3-2 勝ち

男子個人 二回戦 対 出雲 0-4 負け

男子個人 濱田 ベスト16

女子個人 佐川・吉松二回戦敗退

女子個人 石橋・石原・小原・石原初戦敗退

女子個人 一回戦 対 大東 2-2 負け

女子個人 島山・渡部由 ベスト32

男子個人 渡部亜二回戦敗退、北角・堀初戦敗退

●県総体

男子団体 一回戦 対 松江工 4-1 勝ち

男子個人 二回戦 対 大東 2-1 勝ち

男子個人 三回戦 対 出雲工 2-1 勝ち

男子個人 準決勝 対 大社 0-4 負け

男子個人 ベスト4

男子個人 濱田翔太ベスト16

女子個人 一回戦 対 三刀屋 2-3 負け

女子個人 全員緒戦敗退

●県選手権

男子団体 一回戦 対 大東 2-3 負け

男子個人 全員緒戦敗退

女子団体 一回戦 対 松江北 1-2 負け

女子個人 渡部由香子ベスト16

●新人戦

男子団体 一回戦 対 浜田 3-2 勝ち

男子個人 二回戦 対 出雲工 1-0 勝ち

男子個人 三回戦 対 出雲 1-2 負け

男子個人 ベスト8

男子個人 佐川寛明・石橋俊之 ベスト16

女子団体 一回戦 対 島中央 2-1 勝ち

女子個人 二回戦 対 出雲 1-1 負け

女子個人 渡部由香子 ベスト8 (中国新人個人戦に出場)

☆陸上競技部

●県総体

男子一〇〇M 準決勝進出 井上立也

男子二〇〇M 準決勝進出 井上立也

男子八〇〇M 準決勝進出 服部孝祐

●出雲陸上

男子走幅跳 2位 勝田聖矢

●県選手権

女子やり投げ 8位 山田佳苗

●県新人戦

男子一〇〇M 準決勝進出 来待 翼

男子二〇〇M 準決勝進出 三和健太

男子走幅跳 7位 勝田聖矢

男子一〇〇H 7位 三和健太

一年五〇〇〇M 4位 安達健太

女子やり投げ 3位 山田香苗

女子八〇〇M 6位 青戸綾夏

女子一五〇〇M 4位 板持来美

女子一五〇〇M 4位 板持来美

女子一五〇〇M 4位 板持来美

☆アーチエリート部

●県春季大会

少年女子シングル 1位 中尾史絵

少年男子シングル 2位 中島ちひろ

少年男子シングル 3位 小田川真央

少年男子シングル 1位 伊藤壮太郎

少年男子シングル 3位 信木勇治

少年男子シングル 4位 森野 央

●県総体

女子団体 1位 中尾史絵

男子団体 1位 中尾史絵

女子個人 1位 杉谷文香

男子個人 2位 中島ちひろ

男子個人 3位 伊藤壮太郎

男子個人 4位 森野 央

男子個人 5位 信木勇治

●中国大会

女子団体 15位 (中島・杉谷・小田川・中尾)

男子団体 12位 (信木・伊藤・森野・丹羽)

女子個人 39位 中尾史絵

男子個人 42位 小田川真央

男子個人 44位 中島ちひろ

男子個人 61位 杉谷文香

男子個人 42位 森野 央

男子個人 44位 信木勇治

男子個人 45位 伊藤壮太郎

男子個人 53位 丹羽啓太

●国体県1次予選

少年女子 1位 中尾史絵

少年女子 2位 杉谷文香

少年女子 3位 小田川真央

少年女子 1位 伊藤壮太郎

少年女子 3位 丹羽啓太

少年女子 4位 森野 央

●国体県2次予選

少年女子 1位 中尾史絵

少年女子 2位 杉谷文香

少年男子
3位 矢田 歩
1位 伊藤壯太郎
2位 丹羽啓太
3位 信木勇治

●全国高校総体

女子団体
41位 中尾史絵
175位 中尾史絵
192位 杉谷文香
200位 小田川真央
205位 中島ちひろ

男子団体
40位 伊藤壯太郎
155位 伊藤壯太郎
167位 森野 央
171位 丹羽啓太
217位 信木勇治

●県秋季大会

少年女子シングルスカル
1位 中尾史絵
2位 矢田 歩
少年男子シングルスカル
1位 伊藤壯太郎
●中国インドアアーチェリー大会
少年男子 予選敗退 伊藤壯太郎
少年女子 予選敗退 中尾史絵

☆ボート部

●松江レガッタ

男子ダブルスカル(瀬尾・星野) 2位
男子ダブルスカル(永井・村田) 予選敗退
女子ダブルスカル(平塚・内田) 優勝
女子ダブルスカル(長見・三谷) 予選敗退
女子シングルスカル(林) 優勝
女子シングルスカル(三島) 4位

※男子ダブルスカル(瀬尾・星野)、女子ダブルスカル(平塚・内田)、女子シングルスカル(林)(三島)は中国大会出場権獲得

●錦海レガッタ

男子シングルスカル(瀬尾) 優勝
女子ダブルスカル(平塚・内田) 優勝

女子シングルスカル(林) 優勝
●朝日レガッタ
男子ダブルスカル(瀬尾・星野) 準決勝進出
女子ダブルスカル(平塚・内田) 準決勝進出
女子シングルスカル(林) 準決勝進出
女子シングルスカル(三島) 準決勝進出

●県総体

男子クオドルプル(原田・田村・加藤・井川・船越) 3位
男子ダブルスカル(永井・村田) 敗者復活戦 3位
男子シングルスカル(瀬尾) 優勝
男子シングルスカル(星野) 4位
女子ダブルスカル(平塚・内田) 優勝
女子ダブルスカル(長見・三谷) 3位
女子シングルスカル(林) 優勝
女子シングルスカル(三島) 3位

●中国選手権

男子ダブルスカル(瀬尾・星野) 4位
女子ダブルスカル(平塚・内田) 2位
女子シングルスカル(林) 4位
女子シングルスカル(三島) 準決勝進出
●JOCジュニアオリンピックカップ
女子シングルスカル(林) 35位

●国体島根県予選会

女子クオドルプル(平塚) 優勝
男子シングルスカル(瀬尾) 2位
女子シングルスカル(林) 優勝
●国体中国ブロック大会
女子クオドルプル(平塚) 優勝
男子ダブルスカル(瀬尾) 優勝
女子シングルスカル(林) 優勝

●全国高校総体

女子ダブルスカル(平塚・内田) 準々決勝進出
男子シングルスカル(瀬尾) 準々決勝進出
女子シングルスカル(林) 準決勝進出

●大分国体

女子シングルスカル(林) 準決勝進出

●県新人戦

男子クオドルプル(久保田・永井・船越・加藤・村田) 3位
男子ダブルスカル(星野・井川) 3位
男子ダブルスカル(角森・近川) 5位
男子シングルスカル(田村) 敗者復活戦敗退
男子シングルスカル(原田) 敗者復活戦敗退
女子ダブルスカル(三谷・長見) 優勝
女子シングルスカル(吉田) 優勝
●全国選抜中国地区大会
女子ダブルスカル(三谷・長見) 3位
女子ダブルスカル(吉田) 5位
※ダブルスカルは全国選抜ボート大会への出場権獲得
●全国選抜ボート大会
女子ダブルスカル(三谷・長見)

☆野球部

●島根県高等学校春季野球大会
一回戦 7-0 松江北
二回戦 2-6 瀬原
●第九十回全国高等学校野球選手権島根大会
一回戦 13-3 松江高専
二回戦 1-2 出雲西
●島根県高等学校秋季野球大会
一回戦 10-2 松江南
二回戦 0-5 出雲工業

☆ハンドボール

●中国大会県予選
〔男子〕 二回戦 19-21 松江南
3位決定戦 21-19 松江高専
※総合第3位(中国大会へ出場)
〔女子〕 一回戦 27-7 浜田商業
準決勝 13-31 江津
3位決定戦 4-6 松江南
※総合第4位

●中国大会

〔男子〕一回戦 23―36 下関西(山口県第3位)

●県総体

〔男子〕一回戦 32―10 浜田水産

準決勝 23―28 江津

3位決定戦 21―23 飯南

※総合第4位

〔女子〕一回戦 27―11 浜田商業

準決勝 9―30 江津

3位決定戦 11―13 松江南

●島根県総合ハンドボール競技会

〔男子〕予選リーグ 15―14 松江高専

8―19 飯南

〔女子〕 13―8 松江南

21―18 江津

10―5 松江女子

●県新人大会

〔男子〕一回戦 24―17 松江高専

準決勝 7―20 飯南

3位決定戦 19―21 松江工業

※総合第4位

〔女子〕準決勝 17―10 松江南

決勝 7―21 江津

※総合第2位(山陰選抜大会へ出場)

●県高校選手権

〔男子〕一回戦 10―25 松江工業

敗者戦 17―18 松江高専

〔女子〕準決勝戦 11―9 松江女子

決勝戦 17―18 江津

☆水泳部

●県総体

男子二〇〇M自由形 8位 三代宗雄

男子一〇〇Mバタフライ 8位 三代宗雄

女子一〇〇M背泳ぎ 1位 松本つばき

女子二〇〇M背泳ぎ 5位 松本つばき

●中国高等学校選手権兼全国高校総体中国予選

男子高飛び込み 3位 横木翔

男子飛び板飛び込み 2位 横木翔

●全国総体

男子飛び板飛び込み 予選23位 横木翔

男子高飛び込み 予選16位 横木翔

●国民体育大会

少年男子板飛び込み 7位 横木翔

少年男子高飛び込み 15位 横木翔

☆弓道部

●中国大会県予選

男子団体

六十射三十四中 予選通過

決勝トーナメント

一回戦 松江東 十四中 対 益田翔陽 十四中

競射により敗退 ベスト7

男子個人 ベスト12 岡 大輔(十二射十中)

中国大会出場権獲得

女子団体 六十射二十八中 予選通過

決勝トーナメント

一回戦 松江東 九中 対 松江北 十二中

ベスト7

中国大会出場権獲得

女子個人 早弓 沙希(十二射十中) 優勝

中国大会出場権獲得

●県総体

個人戦

2位 長澤 純(十二射十一中)

インターハイ出場

3位 坂本太智(十二射十一中)

三回戦進出 小田智也・木佐優太・前川 猛

団体戦

男子(坂本・小田・甲村・寺本・長澤・中谷・笠原)

決勝 八十射五十四中 4位 総合4位

女子(早弓・朝比奈・貞宗・種野・作野・吉岡)

予選 四十射十四中 予選敗退(第9位)

●中国大会

男子個人 岡 大輔(八射六中) 予選敗退

女子個人 早弓沙希(八射五中) 予選敗退

男子団体(坂本・小田・笠原・寺本・長澤・中谷・岡)

予選 二十射十中 予選敗退

女子団体(早弓・朝比奈・貞宗・種野・作野・吉岡)

予選 二十射十中 決勝トーナメント進出

決勝トーナメント

一回戦 松江東 五中对十三中 徳山商工 敗退

ベスト16

●国体県予選

長澤 純 県代表へ

●国体ブロック大会

島根県少年男子 第3位

●全国高校総体

男子個人 長澤 純 決勝進出

●新人戦兼中国新人大会個人の部予選

男子個人 決勝進出 甲村洋介(八射六中)

女子個人 決勝進出 長澤由美(八射六中)

男子団体 ベスト8

女子団体 予選敗退

●県選手権兼中国新人大会予選兼全国選抜大会予選

男子団体 予選 三十六射二十中 4位通過

決勝リーグ 0勝4敗 第5位

中国新人大会出場権獲得

男子個人 中村洋祐(十二射九中) ベスト7

中国新人大会出場権獲得

女子団体予選 三十六射十三中 予選敗退

女子個人 予選敗退

●高等学校弓道新人大会

男子団体 予選 二十四射十三中 予選敗退

男子個人 中村洋祐(八射五中) 予選敗退

文化部活動

☆合唱部

- 第10回定期演奏会(プラバホール・7月12日〔土〕)
- 第32回全日本合唱コンクール県大会
高校Aの部(女声合唱) 金賞
高校Bの部(混声合唱) 銀賞
- NHK全国学校音楽コンクール県大会
- 第47回全日本合唱コンクール中国大会
高校Aの部(女声合唱) 金賞
- 第20回松江プラバ室内合唱コンクール
女声合唱の部 金賞・コンクール大賞
山陰中央新報社賞
- 混声合唱の部 金賞・優秀賞・山陰中央新報社賞
- 第32回全国高等学校総合文化祭 出場
(群馬県高崎市・群馬音楽センター・8月10日〔日〕)

☆吹奏楽部

- しまねシンフォネット高校オーケストラ第8回定期演奏会出演
- 3月26日 プラバホール
「カルミナ・プラーナ」(オルフ作曲) 指揮 建部 耕
- 島根県東部地区吹奏楽祭 出演
- 6月1日 島根県民会館
- 第15回定期演奏会 開催(招待演奏 出雲第一中学校吹奏楽部)
- 6月15日 プラバホール
- 第17回松江八東バンドフェスティバル 出演
- 7月21日 島根県民会館
- 第49回全日本吹奏楽コンクール島根県大会 金賞受賞(第6位)
- 8月3日 大田市民会館
- 東高東雲祭文化の部にて演奏
- 8月29日 東高体育館
- 高文連音楽コンクール 参加
- 9月12日 島根県民会館
- 岡寺 瞳・三島由梨 金賞受賞
- 第17回出雲ドーム2000人の吹奏楽 参加
- 9月13日 出雲ドーム
- 第14回松江だんだん・カラココ秋祭り 出演
- 10月5日 京店商店街・カラココ工房・南殿町商店街

- 第3回松東ブロック公民館学習発表会 ゲスト出演
- 12月6日 島根体育館
- 第32回全日本アンサンブルコンテスト島根県大会
- 12月21日 大社文化プレイスうらら館
- クラリネット8重奏 金賞(5位)
- 金管8重奏 金賞(23位)
- サクソフォン4重奏 銀賞(33位)
- しまねシンフォネット高校オーケストラ第9回定期演奏会出演
- 3月25日 プラバホール

☆自然科学部

- 県高文連自然科学部部門実験・観察研修会参加
- 県高文連自然科学部部門研究発表会参加
- SSHコンソーシアム高知
- 「高度発光現象スプライトの観測」研究会に参加し、共同研究を行う

☆放送部

- 県高等学校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門 優秀賞
ラジオドキュメント部門 最優秀賞
- NHK全国高等学校放送コンテスト
創作ラジオドラマ部門 準々決勝進出
ラジオドキュメント部門 準々決勝進出
- 県高等学校総合文化祭 アナウンス部門 第2位
- 廣江 藍(次年度全国総合文化祭進出)

☆書道部

- 全国高等学校総合文化祭出品 後藤知里
- 高文連書道コンクール 特選 野田実希
- 秀作 柿田珠里
- 後藤知里
- 萬田美沙伎
- 石飛江梨
- 野津愛里
- 児玉千佳
- 吉木郁恵
- 山本歩美
- 鳴尾梓歩
- 竹本奈名子
- 佐藤友理
- 北村知菜
- 児玉千佳

☆美術部

- 高文連松江地区絵画コンクール
5/30(金) 会場 恵曇漁港周辺 入選 15点
- 第41回県高校美術展 絵画の部 入選 11点
- デザイン・立体の部 入選3点
- 全国高校総合文化祭推薦作品(平面デザイン)
野津あずさ

☆演劇

- UTOPIA 岩本 美紗子作
- 県高文連演劇発表会 優良賞
- 松江地区合同公演 「修学旅行」

☆弦楽部

- 松江東高校吹奏楽部 第15回定期演奏会 賛助出演
- 6月15日 (プラバホール)
- 松江東高校合唱部 第10回定期演奏会 賛助出演
- 7月12日 (プラバホール)
- 多根ごつとフェスタ・福祉交流会 出演
- 9月21日 (雲南市掛合町)
- 第13回島根県中学・高校弦楽クラブ合同演奏会 出演
- 10月5日 (プラバホール)
- 第4回 弦楽部定期演奏会 開催
- 12月20日 (プラバホール)
- しまねシンフォネット高校オーケストラ
- 第9回定期演奏会 出演
- 3月25日 (プラバホール)

☆JRC部

- あしなが育英募金活動
- ミヤンマー・サイクロン災害被災者義捐金募金活動
- 学園通り松江東高校こみ拾い
- 中国大地震救援募金活動
- 岩手・宮城内陸沖地震義捐金募金活動
- 島根県高等学校青少年赤十字メンバースpring活動
- 兼りーダーシップトレイニングセンター参加
- 島根県高等学校青少年赤十字メンバースpring活動
- 水郷祭後清掃活動参加(松江ブロック行事)

☆文芸同好会

- 県高文連文学作品コンクール展
- 俳句の部 優良作 中西絵里奈

P T A 会務報告

※ 全国、県高P連関係事業

一、第1回常任理事会 5月6日(火)

【議事】

- (1) 平成19年度会務報告
- (2) 平成19年度学校徴収金諸会計・監査報告
- (3) 平成20年度新役員について
- (4) 平成20年度事業計画について
- (5) 平成20年度学校徴収金諸会計予算について
- (6) 冷暖房設備会計について
- (7) P T A 総会・生徒活動後援会総会の議事について

二、第1回役員会 5月10日(土)

【議事】

- (1) 平成19年度会務報告・20年度事業計画
 - (2) 平成19年度決算について
 - (3) 平成20年度予算案について
 - (4) 平成20年度新役員について
- 三、P T A 総会 5月10日(土)

【議事】

- (1) 平成19年度会務報告
- (2) 平成19年度学校徴収金諸会計・監査報告
- ① P T A ② 施設充実費 ③ 記念事業費
- ④ 進路指導費 ⑤ 生徒会 ⑥ 部活動振興費
- ⑦ 1年学年学級費 ⑧ 2学年学級費
- ⑨ 3学年学級費

- (3) 平成20年度新役員について
 - (4) 平成20年度事業計画について
 - (5) 平成20年度学校徴収金諸会計予算について
 - (6) 冷暖房設備会計について
- 上記議題について、原案通り承認

四、生徒活動後援会総会 5月10日(土)

【議事】

- (1) 平成19年度生徒活動後援会会計決算・監査報告
 - (2) 平成20年度生徒活動後援会役員選出
 - (3) 新旧役員挨拶
 - (4) 平成20年度生徒活動後援会予算
- 上記議題について、原案通り承認

五、学年・学級懇談 5月10日(土)

六、第1回進路指導委員会(本校) 5月10日(土)

七、※県高P連1回評議委員会・安全互助理事会 5月17日(土)

八、※平成20年度県高P連総会 6月15日(土)

【場所】 江津市総合市民センター

【出席者】 石橋高P連副会長

【場所】 出雲市民会館

【出席者】 石橋高P連副会長、中村校長

九、第1回保護者面談(全学年) 6月9日(月)～11日(水)

十、第1回各委員会(研修、広報、生活指導) 6月21日(土)

【内容】 事業計画

【内容】 事業計画

十一、第2回P T A役員会 6月21日(土)

【議事】

- (1) 学校近況報告

(2) 本年度のP T A活動について(①広報 ②

研修 ③生活指導 ④進路指導)

(3) 各委員会の活動計画について

(4) 本年度役員について

(5) 地区P T Aの開催について

上記議題について、原案通り承認

十二、※第50回中四国高校P T A連合会大会 7月11日(金)

【場所】 山口市

【出席者】 櫻井会長、石橋高P連副会長、三上

教頭

十三、地区P T A(各支部別に開催) 7月25日(金)～31日(木)

十四、※平成20年度県高P連第1回総務・研修委員会 7月30日(水)

【場所】 サンラポーむらくも

【出席者】 石橋高P連副会長、中村校長

十五、※平成20年度県高P連高等学校教育研究大会(生徒指導部門) 8月6日(水)～7日(木)

【場所】 ビッグハート出雲

【出席者】 石橋高P連副会長、中村校長

十六、※第58回全国高校P T A連合会大会 8月22日(金)～23日(土)

【場所】 愛知県

【出席者】 岡田副会長、石橋高P連副会長、中村校長

【出席者】 岡田副会長、石橋高P連副会長、中村校長

十七、ガーデニング講習会(研修委員会主催) 8月23日(土)

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【場所】 はなワールド

【参加者】 25名参加

十八、東雲祭 8月28日(木)～30日(土)

【文化の部】 28日・29日(ガーデニング作品展示)

【体育の部】 30日

十九、進路研修会 9月6日(土)

【対象】 3年保護者対象

【参加者】 約100名参加

二十、※県高P連第2回評議委員会・安全互助会

理事会 9月13日(土)

【場所】 サンラボーむらくも

【出席者】 石橋高P連副会長

二十一、第2回保護者面談(3年)

10月21日(火)～24日(金)

二十二、平成20年度PTA研修(研修委員会主催)

11月1日(土) しまね教育の日

【内容】 食育講演会

(しまね教育ウィーク 7日)

【参加者】 17名

二十三、進路研修会 11月3日(月)

【対象】 全学年保護者

【参加者】 約100名参加

二十四、PTA研修旅行(研修委員会主催)

11月15日(土)

【研修地】 石見銀山

【参加者】 24名

二十五、※県高P連指導者研修会

11月22日(土)

【場所】 大田あすてらす

【出席者】 岡田副会長、石橋高P連副会長

(パネリスト)

二十六、第2回保護者面談(1・2年)

12月25日(木)～26日(金)

二十七、第2回常任理事会 2月14日(土)

【議事】

(1) 平成20年度会務報告

(2) 各委員会活動報告

(3) 平成20年度PTA予算執行状況について

(4) 平成21年度PTA関係の行事予定について

(5) 第3回PTA役員会の議案について

二十八、第3回役員会 2月14日(土)

【報告】

(1) 学校近況報告

(2) 平成20年度会務報告

(3) 各委員会活動報告

(4) 平成20年度地区PTA報告

(5) 学校評価について

【議事】

(1) 平成20年度PTA予算の執行状況について

(2) 平成21年度PTA関係の行事予定について

二十九、※県高P連第3回評議委員会・安全互助

会理事会 2月21日(土)

【場所】 大田あすてらす

【出席者】 石橋高P連副会長

三十、進路講演会 3月8日(日)

【対象】 1・2年保護者

生活指導委員会活動報告

下記のようにパトロールや会議があり、PTAの役員の皆様に協力をお願いし、参加および活動しました。

一、第1回生活指導委員会

【日時】 6月21日(土) 13:00～13:50

【場所】 松江東高校 視聴覚教室

【参加者】 各地区委員

【議題】 地区PTAについて

松江地区高P生指協について

パトロール等について

二、松江市高等学校PTA生活指導協議会

【日時】 7月2日(火) 13:00～15:30

【場所】 開星高等学校

【参加者】 上代生活指導委員長(城東地区支

部長)、松浦生徒部長

三、松江地区生徒指導協議会による合同パトロー

ル

【日時】 7月12日(土) 19:30～21:00

【巡視場所】 今井書店、キャンパス、菅田公園、

北公園周辺など

【担当校】 松江東、松江女子、松江ろう、松

江養護

【参加者】 青山生活指導委員(朝酌地区支部

長)、松浦生徒部長

四、地区PTAの開催

7月25日(金)～31日(木)各支部別に開催

研修委員会活動報告

- 一、第1回研修委員会
- 【日 時】 6月21日(土) 13:00～13:50
- 【場 所】 松江東高校 小会議室
- 【内 容】 年間事業計画(文化行事、研修旅行、研修会)
- 二、ガーデンニング講習会(東雲祭参加行事)
- 【日 時】 8月23日(土)
- 【場 所】 「はなワールド」
2Fイベントホール
- 【講 師】 ガーデンコーディネーター
玉木 秀雄 氏
- 【内 容】 「多肉植物の寄せ植え」
- 【参加者】 25名
- 三、PTA研修講演会
- 【日 時】 11月1日(土)
- 【場 所】 松江東高校 視聴覚教室
- 【講 師】 川口 美喜子 氏(鳥根大学医学部付属病院臨床栄養部副部長)
- 【演 題】 「心と体の健康と食事 く私が出遭った患者さんと高校生たち」
- 【参加者】 17名
- 四、PTA研修旅行
- 【日 時】 11月15日(土)
- 【研修地】 世界遺産「石見銀山」
- 【内 容】 地元ガイドによる大森町内散策と「大久保間歩」見学など
- 【参加者】 24名

進路指導委員会活動報告

- 一、第1回進路指導委員会
- 【日 時】 5月10日(土)
- 【内 容】 年間事業計画
(進路に関する研修会)
- 二、進路講演会
- 【日 時】 9月6日(土) 10:00～11:30
- 【場 所】 松江東高校 視聴覚教室
- 【担当者】 3年学年主任、進路指導部長
- 【内 容】
- ① 3年生の現状
 - ② 保護者としての受験生への関わり方
 - ③ 今後のスケジュール
 - ④ 推薦入試制度とセンター試験、前期・後期試験の変更点について
- 【対 象】 主として3年生の保護者を対象
(約100名参加)
- 三、進路研修会
- 【日 時】 11月3日(月) 10:10～11:10
- 【場 所】 松江東高校 視聴覚教室
- 【内 容】 鳥根大学教育学部教授
肥後 功一 先生による講演会
- 【演 題】 「高校生の心の発達と親子関係」
- 【対 象】 全学年の保護者を対象
(約100名参加)
- 四、進路講演会
- 【日 時】 3月8日(月)
9:30～11:30

- 【場 所】 松江東高校 視聴覚教室
- 【内 容】
- ① 大学入試制度説明会
 - ② 進学マネープラン説明会(業者)
奨学金、教育ローン等についての説明

【対 象】 主として1・2年生の保護者を対象

広報委員会活動報告

- 一、第1回広報委員会
- 【日 時】 6月21日(土) 13:00～13:50
- 【場 所】 松江東高校 応接室
- 【内 容】 年内事業計画
- 二、第2回広報委員会
- 【日 時】 7月19日(土)
- 【場 所】 松江東高校 応接室
- 【内 容】 PTA会報の発行予定日・執筆者
についての検討、確認
- 三、PTA会報「嵩山」第49号
(平成20年度第1号) 発行
- 【発行日】 11月27日(木)
- 四、PTA会報(平成20年度第2号) について文
書連絡による確認
- 【日 時】 1月28日(火)
- 【内 容】 特集記事(卒業にあたっての思い
を3年学年部の教員による執筆)
- 五、PTA会報「嵩山」第50号(平成20年度第2
号) 発行
- 【日 時】 3月2日(月)

補習科案内

補習科は、大学進学を志しながら、志望を達成できなかった生徒諸君が、来春の合格を目指して、勉強するのを一年間援助するために設置されたものです。補習科は、あくまでも援助するところであって、主体は生徒諸君です。東高生の先輩としての自覚をもち、3年次にもまして規律ある生活と強い目的意識を持つことが期待されます。

授業は演習中心に進められ、校内及び校外の先生方にご指導いただいています。

模試は、3年生と同日程で行うものの他に、本科の定期試験期間に実施するもの等があります。

補習科入試は学科試験（国語・英語・数学）と面接を行い、調査書等を加えて合格者を選考します。

出願手続きなどの詳細は、「平成21年度松江東高等学校補習科募集要項」をご覧ください。



補習科入試

1. 募集人員 40名程度
2. 募集要項配布 3月11日（水）～
3. 出願期間 3月12日（木）～
3月24日（火）正午
4. 試験日 3月27日（金）
5. 試験科目 国語 国語総合（現・古・漢）
英語 英語Ⅰ・Ⅱ・R・W
数学 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B
6. 時 程 8：30～8：50 受付
8：50～9：00 諸注意
9：00～10：00 国語
10：10～11：10 英語
11：20～12：40 数学
13：30～15：30 面接
7. 試験場 松江東高校記念館
8. 検定料 5,000円
9. 合格発表 3月31日（火）10：00

編集後記

知人から「人間、言葉に、のに、のにが付くのは良くないよ」と言われたことがあります。「これだけしてるのに、お前は分かってくれない」などのように、のにの後は「くない」と否定的な言葉がきます。思い通りにならないことを相手の責任にしているのです。相手の責任にするのは簡単。でもまず自分はどうなのかを常に振り返る事の出来る人でありたいと思います。

今年度忙しい中、会報の発行にあたり原稿をお寄せいただいたみなさま本当にありがとうございました。

野津 勇

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
経済不況など暗い話題ばかりで先が見えない今の時代。この先、どんな世の中になっていくのかと不安ばかり広がります。卒業生の皆様も、これから生きていく中で色々な苦難悩みに直面すると思います。が決して逃げることなく立ち向かって行つてほしいと思います。「ピンチはチャンス」「試練は自分が強くなるチャンス」だと前向きな考えで明るく進んで行つてほしいです。それを乗り越えたとき、大きく成長できるし、自信にもつながると思います。冬は必ず春となるのです。

最後になりましたが、会報を発行するにあたり、ご協力いただきました皆様、心より御礼申し上げます。

渡部 里美

三年生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の一人として今までご指導いただきました校長先生を始め、先生方に厚くお礼申し上げます。
あっといふ間の三年間でしたが、部活動・学校行事など子供達は充実した日々を過ごされたことと思います。たくさんの方の友達と出会い、思い出を作れたことは一生の財産となることでしょう。それぞれの道に進まれる訳ですがこれからもたくさんの方の財産を築かれるようお祈りいたします。

終わりに、会報の発行にあたり、原稿にご協力いただいた皆様、生徒の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

津田 泰嗣



〈表紙の絵〉竹田 茂(本校教員)

〈題 字〉

P T A 会報 森脇 哲朗(旧本校教員)

高山 上田久美子(十三期生保護者)